



陽 心

教育目標　自主　健康　奉仕

東陽中学校区の小中学校では、毎月の14日を「トヨーの日」として

『家族団らんの日』を推進しています。9月は14日(日)です。



今月の花

ケイトウ、ユリ
リョウブ

東陽中学校学校だより 文責:竹田昌彦

2学期がスタートしました！ 9月1日より2学期が始まりました。今年の夏休みは猛暑日が多く、部活動や各種活動において計画通りに進まない場面もありましたが、生徒たちは工夫しながら充実した時間を過ごしました。8月下旬には市内大会が開催され、各部活動では新体制のもとで本格的な活動が始まりました。仲間とともに汗を流し、目標に向かって努力する姿が印象的でした。また、2年生代表生徒が広島平和記念式典に中学生派遣として参加し、平和への思いを深める貴重な経験をしました。さらに、3年生代表生徒は「少年の主張」発表大会にて堂々と自らの考えを発表し、聴衆に感動を与えました。2学期も、生徒一人ひとりがそれぞれの場で輝けるよう、学校全体で支えていきたいと思います。



2学期始業式が行われました 9月1日、放送による始業式が行われ、生徒たちは各教室から参加しました。静かな教室の中で、放送に耳を傾ける姿からは、新しい学期への意気込みが感じられました。式では、各学年の代表生徒が今学期の抱負を発表し、それぞれの学年らしい視点で意欲的な言葉が述べられました。

1年生代表は、学習面での目標設定と計画的な取組、学校行事では「今何をすべきか」を考えて行動すること、そして日常生活では言葉遣いに気を配り、思いやりを持って過ごすことの大切さを語りました。



2年生代表は、部活動では練習の中心となり、より良い環境づくりに努めること、学校行事では1年生を支えながら、感謝の気持ちを忘れずに取り組む姿勢を示しました。



3年生代表は、入試に向けて計画的に学習を進め、試験を意識した問題演習に取り組むこと、行事や受験に向けて学級の雰囲気づくりを大切にしたいという決意を述べました。



それぞれの抱負は、生徒一人ひとりが2学期の学校生活を送る上で大いに参考となり、前向きな気持ちを共有する貴重な時間となりました。

校長式辞として、学校教育目標である「明日に夢をもって生きていこう（陽心）」に向けて、「あいさつの励行」と「学ぶ力を身に付ける」という話をしました。日々の生活の中で、夢に向かって努力する姿勢を大切にしてほしいと思います。

県総体、県吹奏楽コンクール 7月に県総合体育大会、8月に県吹奏楽コンクールが行われました。どの部も練習の成果を遺憾なく発揮し、立派な成績を収めました。各部の成績は次のとおりです。※(関)・・・関東大会出場 (全)・・・全国大会出場

○陸上競技

- ・1年男子100m 第1位(関) ・2年男子1500m 第3位
- ・3年男子400m 第3位 ・3年男子走幅跳 第4位(関)
- ・3年女子100mH 第1位(関・全) ・3年女子100m 第5位(関)
- ・3年女子800m 第6位 ・3年女子1500m 第6位
- ・共通女子 4×100mR 第1位
- ・共通男子 4×100mR(通信陸上競技大会の結果 関東大会出場)

○ハンドボール 準優勝(関) ○バレーボール男子 2回戦惜敗(ベスト16)

○ソフトテニス男子 個人戦 3回戦惜敗

○バドミントン女子 団体戦 2回戦惜敗(ベスト16)

シングルス(2名) 2回戦惜敗 ダブルス(2ペア) 2回戦惜敗

○バドミントン男子 ダブルス 2回戦惜敗(ベスト16)

○卓球男子 シングルス 3回戦惜敗(ベスト32) ダブルス 4回戦惜敗(ベスト16)

○剣道女子 個人戦 ベスト16(2名) 2回戦惜敗(1名) 団体戦 5位(関)

○水泳 ・200m平泳ぎ ・100m平泳ぎ 予選敗退

○県吹奏楽コンクール A部門 銀賞

関東大会・全国大会 県総体を見事勝ち抜き、陸上競技、ハンドボール、剣道女子の3つの部が関東大会に出場しました。また、陸上競技女子100mハードルで全国大会出場も達成しました。選手の皆さん、顧問の先生方お疲れ様でした。大会成績は次のとおりです。

<関東大会> ※()は開催地

○陸上競技(栃木県) 共通男子4×100mR 予選5位 男子走幅跳 第5位(入賞)
共通女子100mH 決勝5位(入賞)

1年男子100m 予選6位 3年女子100m 予選5位

○ハンドボール(茨城県) 2回戦惜敗(ベスト8)

○剣道女子(東京都) 予選ブロック2位(1勝1敗で惜敗)

<全国大会> ※()は開催地

○陸上競技(沖縄県) 女子100mH 予選敗退



入賞者の皆さん

栃木県少年の主張発表大会下都賀地区大会 8/21(木)に野木町文化会館で開催された「栃木県少年の主張発表大会 下都賀地区大会」では、各中学校の代表生徒が、自分の体験や考えをもとに社会への思いを語りました。本校生徒は13番目に登場し、堂々とした態度で聴衆に語りかけるように発表を行い、見事最優秀賞を受賞しました。その力強いスピーチは、会場にいた多くの方々の心に響いたことでしょう。この大会の上位入賞者は、9/20(土)に栃木県総合文化センターで開催される少年の主張発表県大会にも出場する予定です。さらなる活躍を期待しています。

広島平和記念式典中学生派遣 8/23(土)に栃木市文化会館で開催された「広島平和記念式典中学生派遣報告会」では、栃木市内の中学2年生26名が広島を訪れ、平和記念式典への参加や資料館の見学、被爆体験講話などを通じて得た学びを発表しました。本校から参加した2名の生徒も、平和の尊さや日常のありがたさを実感し、それを「自分事」として捉え、周囲に伝えていくこうとする姿勢がとても印象的でした。